

新城市民病院での研修を終えて

名古屋第一赤十字病院

まず初めに、優しくご指導して頂き、また慣れない病院での研修を支えて頂いた先生方、コメディカルの方々、事務の方々、本当にありがとうございました。4週間という短い間でしたが、ここでしか出来ない事も含め多くの大切な経験をさせて頂きました。

ここ新城市民病院で学んだことは、入院の契機となった疾患の治療だけではありません。患者さんの生活背景や希望などから、退院目標をしっかりと見定めておくことが大事ということです。そして入院中に変わっていく患者さんの状態をみながら、常に退院後などこれからの事を見据えておくべきです。漫然と点滴を繋いでおくのではなく、早期に飲食を開始し、離床し、リハビリを開始する。そして自宅や施設に帰るためには、何が足りないのか、どうしたらよいのかを考える。それは名古屋第一赤十字病院で普段研修する中で、あまり考えてこなかったことでした。看護師、PT、OT、ST、MSWの方から患者さんの現在の状況について直接意見を聞き、今後どうしていくかを内科カンファレンスでは話し合いました。他職種の方々もそれぞれの視点からしっかりと患者さんの状況をそれぞれの視点から見てくださっていて、自分が回診に行くだけではわからないことがたくさんあります。

作手診療所、しんしろ助産所、訪問リハビリといった院外での研修のプログラムもありました。EBMのお話を聞いて、自分がいかに根拠なく医療を行っていたかを痛感しました。疑問に思ったことを調べて患者さんに活かすのはもちろん重要ですが、疑問を持つことがそもそも習慣付いていないと難しいと感じました。

総合診療科の先生方は勉強熱心、指導熱心で本当に頭が上がりません。チームの中村先生や鈴木先生と毎日のように振り返りの時間があり、自分で挙げたその日の反省点に対するアドバイスを頂きました。他の先生方も夕方のカンファレンスで診察の改善点を丁寧に教えて下さり、自分の成長につながったと思います。フィードバックがある環境はとても勉強になりました。

新城市民病院での研修の経験を活かし、これからも診療にあたります。4週間本当にありがとうございました。